

演題

# 「最後の晚餐」を鑑賞する

美術造形文化に関心を持つ者として、芸術の永遠について考えさせられる作品を鑑賞し、理解することは自己を高める作業である。しかしながら、完成当時から評判であったレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」について違和感を感じていました。この違和感について考察してみようと思います。

講師 造形作家 **伊藤 茂 氏**



1954年 大垣市に生まれる  
1977年 武蔵野美術大学卒業  
1985年 岐阜現況展  
1991年 見たい見せたい美術展、石膏のつどいに継続参加  
1997年 大垣工業高校モニュメント設置、歌となる言葉とかたち運営委員長  
2000年 JR岐阜アクティブG、1/2CUBE2000ideas展  
2005年 1/2CUBE2004/2004ideas、歌と出会う出版、岐阜県芸術文化奨励賞  
2016年 ライフワークポートレート展、ぎふメディアコスモス作品集  
2017年 歌となる言葉とかたち20周年記念誌発行  
2021年 ライフワークポートレート展、ぎふメディアコスモス作品集

日時 2022年6月11日(土) 14:00～15:30

会場 **ハートフルスクエア-G 中研修室**  
(岐阜市橋本町1-10-23)

**参加無料**

(要申込・定員25名)

※参加希望者は、2022年6月4日(土)までに 080-3688-3678 (長野) へお電話ください。  
定員25名 (先着順) に達しましたら締め切ります。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際は下記のことにご協力ください。

- ①マスク着用
- ②手指消毒・検温の実施 (37.5℃以上の場合は参加できません)
- ③人との距離を1m以上確保

主催 岐阜県芸術文化会議 共催 岐阜新聞社・岐阜放送

お問い合わせ 岐阜県芸術文化会議 事務局 080-3688-3678 (長野)